

がんプロフェッショナル 養成基盤推進プラン

がん看護学教育国際セミナー

日 時

2012年 **12月20日**(木)
17:00—19:30

入場
無料

場 所

東京ステーションコンファレンス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー
JR東京駅 新幹線専用改札口(日本橋)より徒歩1分、八重洲北口改札口より徒歩2分

プログラム

「ベストプラクティスケア:

患者にとって最善のアウトカムをめざして」

がん治療の発展により、がん患者の多くは、長い治療期間を乗り越え、がんサバイバーとして意義ある生活を送るようになりました。治療継続、それに伴う副作用対策、苦痛緩和は患者自身がそれぞれの生活の場で、主役となって行わなければなりません。患者にとって最善のアウトカムが得られるように、看護師は患者にとって有用で質の高いケアを提供していく必要があります。このセミナーでは、患者にとって最善のアウトカムをもたらすために、ケアの有効性と質の妥当性をどのように判断し、ベストプラクティスケアをめざすか、について検討します。

■ 開場 17:00—17:20

■ 開会の挨拶 17:20—17:30

高木安雄

(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科委員長 教授)

■ 講演1 17:30—18:10

「がん看護ベストプラクティスケア」

講師 小松浩子

(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授)

■ 講演2 18:10—19:10

「看護に応答性のある患者アウトカム」

講師 喜吉テオ 紘子

(University of Michigan School of Nursing)

■ Q&A 19:10—19:30

【主催者】 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 小松浩子

【連絡先】 慶應義塾大学看護医療学部 矢ヶ崎香

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学信濃町キャンパス

Email: yagasaki@sfc.keio.ac.jp

本セミナーは、文部科学省による、がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン<高度がん医療開発を先導する専門家の養成>を推進する10大学(慶應義塾大学、北里大学、国際医療福祉大学、聖マリアンナ医科大学、聖路加看護大学、首都大学東京、信州大学、東海大学、東京歯科大学、山梨大学)の連携により行っています。